

講義名	対)地域ボランティア演習 A			
担当教員	北村 裕美 / 関 和俊			
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限 / 前期 木曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	3年生	単位数	4	備考
<b>主題と概要</b>				
<p>本演習は、住民の健康づくりに関する知識や運動指導法の基礎を習得する科目である。健康づくりを中心としたボランティア活動の企画・運営方法、健康づくりに関する運動指導法を学ぶとともに、国内の社会情勢を踏まえたエビデンスに基づいた資料の作成方法について学ぶ。また、地域住民に対して、健康をテーマとしたパンフレットを制作、配布し、地域社会に貢献する。将来、地域の活性化を担える人物の育成を目指す。</p>				
<b>到達目標</b>				
<p>本演習は、「対面型」で実施する。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためである。「オンデマンド型」ではないため、時間割通りの時間帯に指定された教室で授業出席する必要がある。なお、新型コロナウイルス感染症等の学域感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった場合は、解除後に補講等にて個別対応する。到達目標は以下に示す。</p> <p>健康づくり活動の企画・運営ができるようになる。</p> <p>我が国における社会情勢を踏まえた健康づくりや最新の運動指導方法を説明できるようにようになる。</p> <p>Word、Excel、PowerPointを用いて資料が作成できるようになる。</p>				
<b>提出課題</b>				
レポート 健康づくりに関する制作物				
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>				
授業中に講評する。				
<b>評価の基準</b>				
<p>出席状況・・・50%</p> <p>課題内容（レポート、制作物など）・・・50%</p> <p>*遅刻は開始10分まで、10分以降欠席扱いとし、遅刻2回で1回欠席とみなし、4回欠席で単位認定しない。</p>				
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>				
対面型のため、感染対策のルールを遵守すること。				

<b>教科書</b>				
.使用しない。				
<b>プリント資料及び参考文献</b>				
必要に応じて、授業中に資料を配布する。				
<b>授業計画</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、高齢者と健康</li> <li>2. 足りすぎの障害とは</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症とは</li> <li>4. 感染症と予防接種とは</li> <li>5. フレイブルとは</li> <li>6. ロコモティブシンドロームとは</li> <li>7. 認知症とその予防、介護予防</li> <li>8. 演技 ストレッチ</li> <li>9. 演技 ホールエクササイズ</li> <li>10. 演技 リズム体操</li> <li>11. 演技 リズム体操</li> <li>12. 演技 リズム体操</li> <li>13. 健康支援ポスター制作</li> <li>14. 健康支援ポスター制作</li> <li>15. ポスター発表</li> </ol>				
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）		<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート		<input type="radio"/> エ：グループワーク		
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション		<input type="radio"/> カ：実演、フィールドワーク		
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
<p>&lt;予習&gt; 「健康」に関して情報収集（新聞、メディア情報）をしておくこと（2時間）。</p> <p>&lt;復習&gt; 講義内で出てきたキーワードなどを調べておくこと。また、教員からのコメント、参加者アンケートなどを参考にして指導の反省点をまとめ、出来なかった点および修正すべき点を抽出し、まとめること（2時間）。</p>				
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>				
本演習を通して、健康づくり運動に関する効果的な指導法を身につけることができ、ディプロマポリシーに大きく貢献できる科目である。				
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
本演習では、運動指導時：教員からの説明後、各自練習、教員チェック、発表、課題レポート時：課題レポートに関する講義後、各自取り組み、教員チェック、発表の流れで進める。				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
<b>備考</b>				